

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆景気判断「緩やかに回復」維持 4月月例報告、中東情勢の影響注視

・政府は4月の月例経済報告で国内の景気判断を「緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」との表現で据え置いた。堅調な設備投資を踏まえ、20カ月連続で判断を維持。個別項目では設備投資の判断を「持ち直している」に上方修正した。引き上げは7カ月ぶり。3月は「緩やかに持ち直している」としていた。

#### ◆25年の出生率1.13前後 民間試算、出生数は初の68万人割れ

・2025年の合計特殊出生率は1.13前後で過去最低になる見通し。日本総合研究所の藤波匠・主席研究員の試算では24年の1.15を0.2ポイントほど下回った。日本人の出生数も初めて68万人を割る公算が大きい。1人の女性が生涯に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は10年連続で低下しそうだ。人口の維持にはおおむね2.07が必要とされる。

#### ◆エネルギー供給、サウジに協力要請 高市早苗首相が皇太子と電話

・高市首相はサウジアラビアのムハンマド皇太子と30分間ほど電話で協議。事実上封鎖されたホルムズ海峡を迂回できるルートで日本に原油を供給していることに謝意を伝えた。日本へのエネルギーの供給拡大へ協力を要請。サウジアラビアは紅海側のヤンブー港から原油を輸出できる。ムハンマド氏は「前向きに対応していきたい」と語った。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆エチレン設備稼働率、3月68.6%で過去最低 調達多様化で稼働継続へ

・石油化学工業協会はエチレン生産設備の3月の稼働率が68.6%(速報ベース)だったと発表。原料調達難を見据えた減産が響き過去最低。各社は原料の調達先を多様化し、稼働を維持する。国内にはエチレン生産設備が12基あり、原油精製の過程で得られるナフサ(粗製ガソリン)を分解してエチレンやプロピレンなど複数の基礎化学品を生成。

#### ◆ビル建築確認、2029年から新3Dデータで効率審査 建築士不足に備え

・国土交通省は2029年春から住宅着工に必要な建築確認の審査に「BIM」と呼ぶ新しい3次元データを使えるようにする。建築部材や仕様といった様々な情報がひも付き、データ修正や照合作業の効率が大幅に上がる。今後深刻になる建築士不足に備える。26年4月からまず参考資料として提出できる。オフィスビルなど大規模な建物への活用を想定。

#### ◆クリナップ、システムバスルームの新規受注を再開

・クリナップはシステムバスルーム全般の新規受注を再開。中東情勢の影響による原材料調達の混乱で受注が想定を大幅に上回り、同社は4月15日から新規受注を一時的に見合わせていた。受注見合わせ期間中に注文情報の整理が進み、生産・出荷体制が整ったことから、受注再開を決めた。安定供給に向けた対応を継続するとしている。

### 《 注目商品 》

#### ■積水化学、「陸屋根高排水システム」の大容量タイプ「高排水マス125-150」

・激化するゲリラ豪雨に有効な「陸屋根高排水システム」の品揃えを拡充し、非住宅大規模施設にも対応可能な大容量タイプ『高排水マス125-150』を新たに発売。大型建物に使われる「カラーパイプ」と『高排水マス』でサイフォン現象を連続して発生させる。



#### ■シャープ、プラズマクラスターオウルフローハンディファン「PJ-HS01」

・同社初となるハンディファンを5月28日に発売すると発表。独自のイオン発生技術を搭載し、衣類についた汗の臭いなどを消臭できる。ファンの断面に膨らみを持たせることなどで、大風量と静音を両立。バッテリーには廃棄時に取り外し可能なリチウムイオン電池を採用。



#### ■パナソニック、「外でもドアホン」をフルモデルチェンジ

・AI機能搭載モニター付テレビドアホンをフルモデルチェンジ。事前登録した顔情報に応じてAIが顔を認証し自動メッセージによる来訪対応が可能。未登録者には自動録画と用件確認を行う。「うろつき検知」機能は、エリア内に約30秒間とどまった人物をAIが自動録画。

